

昭和五十九年七月二十日受領  
答弁 第二七七号

内閣衆質一〇一第二七号

昭和五十九年七月二十日

内閣総理大臣 中曾根 康弘

衆議院議長 福永 健司 殿

衆議院議員田中美智子君提出名古屋都市高速道路の財政問題に関する質問に対し、別紙答弁書を送付する。

衆議院議員田中美智子君提出名古屋都市高速道路の財政問題に関する質問に対する

答弁書

一について

名古屋高速道路の現供用区間における交通量は、当初の見込みを下回っているが、供用を開始した昭和五十四年度には見込みの約四割であつたものが、昭和五十八年度には六割に達し、着実に増加していると聞いている。

また、名古屋高速道路公社並びに同公社の設立団体である愛知県及び名古屋市では、今後、事業が順次進められ、都市高速道路網が形成されるに従い、利便性が向上し、交通量が増加して収支が改善されると見込んでいるので、政府としても注意深く見守つてまいりたい。

二及び三の 1 について

新規に事業を認可した区間は、現在供用中及び建設中の名古屋市道高速二号と同高速一号を都心において結ぶものであり、その完成により採算性は向上すると期待されているが、現在、事業の進ちよくについて計画とのずれが生じていること等から、名古屋高速道路公社において、利用交通量の検討、長期的な収支見通しを含め、昭和六十二年度を終期とする整備計画の変更を検討していると聞いている。

なお、昭和五十八年度現在、新設工事中の四区間及び着工準備中の二区間の各区间ごとの新設に要する費用の概算額並びに現時点における事業認可区間ごとの完成予定時期は、それぞれ別表一及び別表二のとおりであると聞いている。

### 三の 2 について

都市高速道路は、道路網を早期に整備する必要があり、整備計画の検討の方向を見定めつつ事業を進めることは差し支えないと考える。

右答弁する。

別表一 事業区間の費用の概算額

路 線	区 間	費用の概算額	備 考
名古屋都市計画道路 一―四―一―高速一号線	中川区富田町大字万場字三反田 中区大須一丁目	一、二、三、八億円 (昭和五七年価格)	新設工事中
	中区大須一丁目 千種区吹上一丁目	二、四、六億円 (昭和五七年価格)	着工準備中
名古屋都市計画道路 一―四―二―高速二号線	北区丸新町 北区萩野通一丁目	二、九、一億円 (昭和五八年価格)	新設工事中
	中区新栄一丁目 昭河区円上町	二、四、四億円 (昭和五七年価格)	新設工事中
名古屋都市計画道路 一―五―三―高速分岐三号線	中区平和一丁目 昭河区御器所一丁目及び鶴舞三丁目	一、一、六億円 (昭和五七年価格)	新設工事中
	名古屋都市計画道路 一―五―三―高速分岐三号線		
名古屋都市計画道路 一―四―三―高速三号線	中村区名駅四丁目 中区平和一丁目	三、〇、五億円 (昭和五七年価格)	着工準備中

注 区間の右列は起点、左列は終点の地名を表し、いずれも名古屋市である。

別表二 事業認可区間ごとの完成予定時期

路 線	区 間	事業認可(当初)年月 日	現時点にお ける完成予 定時期
名古屋都市計画道路 一―四―一―高速一号線	中川区富田町大字万場字三反田 中川区畑江通二丁目	昭和五三年一月二〇日	昭和六一年度
	中村区畑江通二丁目 中村区大須一丁目	昭和五三年七月二三日	昭和六一年度
	中区大須一丁目 千種区吹上一丁目	昭和五八年七月二九日	昭和六二年度
名古屋都市計画道路 一―四―二―高速二号線	北区丸新町 北区萩野通一丁目	昭和四七年六月二六日	昭和六二年度
	中区新栄一丁目 昭和中区円上町	昭和五四年一〇月一五日	昭和五九年度
名古屋都市計画道路 一―五―三―高速分岐三号線	中区平和一丁目 昭和中区御器所一丁目及び鶴舞三丁目	昭和五六年一月一七日	昭和五九年度
	中川区山王三丁目 中区平和一丁目	昭和五八年七月二九日	昭和六二年度
	中村区名駅四丁目 中川区山王二丁目	昭和五八年七月二九日	昭和六二年度

注 区間の右列は起点、左列は終点の地名を表し、いずれも名古屋市である。